

生産技術者の役割と 基本知識習得セミナー

～ 生産技術者が果たすべき3つの役割 ～

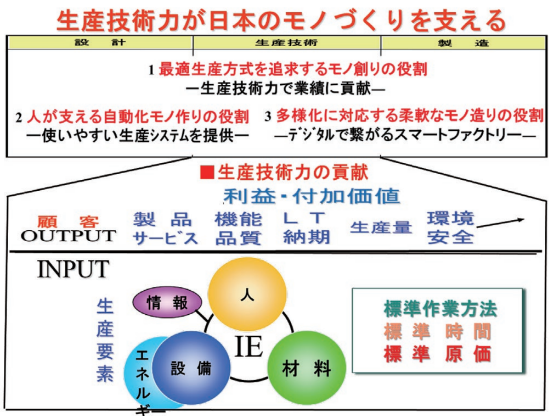
開催日時	2026年 5月25日(月)～26日(火) 2026年 9月 8日(火)～ 9日(水)	オンライン	各回とも2日間 10:00～17:00
対 象	・生産技術部門スタッフ ・生産管理・工場管理部門スタッフ ・製造部門スタッフ		

講 師	添田 英敬 氏 (株)MEマネジメントサービス 代表取締役 マネジメントコンサルタント	参加料(税込)	法人会員：118,800円/1名 会 員 外：130,130円/1名	※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください)。 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。
-----	---	---------	---------------------------------------	--

本セミナーのねらい

日本国内の製造業は“現場力”に支えられ、製造部門主体のモノづくりを続けてきた一方、生産技術は“設備屋”の役割を与えられてきました。生産技術は設計と製造を取り持つ工程設計が主務でしたが、設備からエネルギー・人・資材・情報へと生産要素の範囲が広がり、上下流にいる設計・製造の期待に応える役割も拡大しています。

- ① 最適な生産方式の追求するモノ創り
 - ② 人が支える自動化モノ作り
 - ③ 多様化に対応する柔軟なモノ作り
- 上記3つの役割に応える生産技術者の育成・強化は今後のモノ作りの要となり、その役割と基本知識を習得していただきます。



■ プログラム 2日間 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

- 1 生産技術者に必要なIEと原価知識**
—経営視点から見た生産技術力—
- (1) 生産技術者の組織上の役割とスキル
 - (2) 生産技術者の業績向上に果たす役割 演習 コア技術
 - (3) 自動化依存の生産性向上の限界 演習 投資の回収計算は正しい選択か?
 - (4) 生産技術者に必要なIE知識
 - (5) 生産性・コストダウンの2側面
 - (6) 生産技術者に必要な原価知識 演習 原価計算演習

- 3 人が支える自動化モノ作りの役割**
—使いやすい生産システムを提供—
- (1) 人の能力の限界を設備に託す
 - (2) 人の標準の速さ
 - (3) 人と設備の共創を演出
 - (4) 人と設備の自律を演出
 - (5) 人にやさしい自動化の推進 演習 人と設備の特性
 - (6) 製造のKPI向上に貢献 演習 工数・設備効率の一体測定

- 2 最適生産方式を追求するモノ創りの役割**
—生産技術力で業績に貢献—
- (1) 設計アプローチで最適生産を構築
 - (2) 最適設備は加工点設計から 演習 設備効率問題
 - (3) 不良の出ない設備の設計
 - (4) 標準作業方法・標準時間の設定
 - (5) 基本機能だけで作業・工程をつなぐ 演習 ロボット作業の改善
 - (6) 自動化は数量の多い対象から 演習 省人化限度額の計算
 - (7) 人と設備はゼロサムが分岐点

- 4 多様化に対応する柔軟なモノ造りの役割**
—顧客とデジタルで繋がるスマート工場—
- (1) マス・カスタマイゼーションの進展
 - (2) 管理しやすい製造方式
 - (3) 標準化で設計部門と連携強化 演習 自動化の優先順序決定
 - (4) マス・カスタム生産を目指す
 - (5) 顧客と繋がるスマート工場に向けて 演習 デジタル・マニュファクチャリング
 - (6) 生産技術者のスキルアップ

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。